



ママ友の
笠間 章子さん



お口のプロが近くにいてよかったです！話を聞いてもらえると安心します。今日もフロスのやり方を再確認してくれました♪

一度火がついたからには、 もうためらいません！

実はこれまで、あえて自分から歯科衛生士だと言うことはなかったんです。でも求められいですね。

ママ友たちからそう言ってもらえると、うれしいですね。
「あれからフロスが手放せない！」
ママ友たちからそう言ってもらえると、うれしいですね。

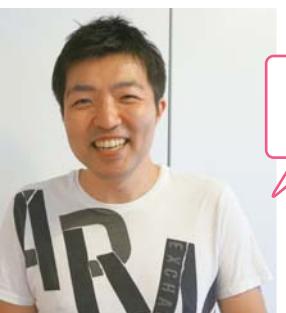
いつかくる復帰へ向けて、 活動を続けていきたい

はじめて活動に参加した感想は、「やつてよかった！」ですね。情報を伝えたりフロスを指導したりすることで、「一般の方が歯周病予防に関心を持つてくれました」「ありがとうございます」と言ってもらえるたび歯科衛生士としてのやりがいを実感。ぜひまたやりたいという気持ちが、高まつていきました。

それからはやる気に火がつき、チャンスがあれば迷わず参加しています。2回目にお手伝いした親子向けのグッペリ活動では、自分の経験を活かしてお母さんたちに情報を伝えることができました。すると、今度は自分の周りのママ友にも伝えたくなつて、企画を立ち上げたんです。結果は好評。



旦那さんの
村上 謙さん



フロスを伝えるためのツールは旦那さんお手製！活動に積極的に協力してくれています。

くれているとわかり、最近はちよくちよくオースメのフロアフロスなどを伝えています。親が正しいケアを知つていれば、子どもの歯も守れる。みんなの力になれていると思うと、最初の一歩を踏み出してもよかつたなあとつくづく思います。出産や子育てで一度仕事から離れる、なかなかモチベーションを維持するのは難しいです。よね。知識や技術にも、自信がなくなつてしまいますが、だからこそ、こうして歯科医院以外で活躍できるチャンスは貴重。これからもどんどん活動に参加して、いつかくる復帰のために歯科衛生士としての熱意を持ち続けます！



Goodbye.
Perio Project



DH 村上 淑子さん

現在、2人目のお子さんを妊娠中の村上 淑子さん。

子育ての合間にねってグッペリ活動を行ない、イベントの企画にも携わっています。もともと行動派の村上さんですが、活動参加を決めるまでにはかなり悩んだそうです。
1歩踏み出すことで、どんな世界が切り拓けたのでしょうか？

歯科衛生士としての達成感が
背中を押してくれました

初めてグッペリの活動に参加したのは、2年前。何事も思い立つたら即行動の私が、歯科衛生士として医院の外で何かすることに専念してはためらいを感じていました。歯科医院の中では患者さんと接してこなれた自分が、一般の人にくまく歯周病予防を伝えられるだろうか。そんな不安で、なかなか1歩が踏み出せなかつたんです。ところが、1人の子を妊娠している間に気持ちの変化が起きました。あるとき、母親学級で同じグループになつたご夫婦に歯科衛生士だと伝え、キシリトールやフロスの話をしたことがあつたんです。すると、二人ともすく関心を持ってくれて。連絡先まで交換しました。すでに歯科医院は退職していたので、久しぶりに歯科衛生士としての達成感があり、うれしかつたですね。

この経験を通して思つたんです。私は自分の口腔内の変化がわかるし、健康な状態を保つためのケアも知つている。でも普通の人は何か問題があらわれるまで気づかず、気軽に聞ける存在も近くにいないんだなあつて。歯科衛生士として、情報を伝えるチャンスを